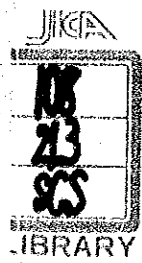


インドネシア国  
スラウェシ職業訓練センター  
第二次アフターケア調査報告書

平成 2 年 12 月

国際協力事業団



社協二
JR
91-008



JICA LIBRARY



1106346181

国際協力事業団

25257

## 序 文

インドネシアは、人口の増加及び地域格差の拡大に対処するため、地域住民の雇用機会の創出及び工業の地方分散化を進めており、それに伴う職業訓練の実施が必要不可欠なものとなっている。

我が国は、インドネシア国政府からの要請に基づき、スラウェシ職業訓練センター設立に伴う技術協力を昭和49年2月から昭和55年2月までの6年間（フォローアップ協力1年間を含む）実施し、インドネシア側から極めて高い評価を受けて、協力を終了した。

その後、昭和57年6月、アフターケア調査団を派遣し、短期専門家の派遣及び機材供与を行い、本センターの更なる発展のための補強を行った。

今般、プロジェクトが終了してから10年が経過したことから、プロジェクトの現状の把握、及び必要なアフターケアの内容を決定するため、平成2年12月1日から12月13日まで、雇用促進事業団職業能力開発企画部国際協力課長・尾藤俊和氏を団長とする第二次アフターケア調査団を同国に派遣した。

本報告書は、同調査団の調査、協議結果をとりまとめたものである。

最後に、今回の調査の任に当たられた団員各位及びご協力いただいた外務省、労働省、雇用促進事業団及び在インドネシア日本大使館、その他関係機関の方々に対し、深甚の謝意を表する次第である。

平成2年12月

国際協力事業団  
社会開発協力部  
部長 小 泉 純 作

# 目 次

## 序 文

1. 調査団の派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
(1) 経緯	1
(2) 目的	1
1-2 調査団の構成	2
1-3 調査日程	3
1-4 主要面談者	3
2. 調査及び協議結果要旨	5
2-1 インドネシアの職訓事情	5
(1) 職訓の基本的考え方	5
(2) 実施形態及び組織	6
(3) 実績	6
2-2 スラウェシ職業訓練センターの現状	6
(1) 組織・職員数	6
(2) 訓練実績の推移	8
(3) 予算の推移	15
(4) 訓練生の就職率	15
(5) 協力期間中のカウンターパートの現在の動向	16
2-3 第二次アフターケアの内容	17
(1) 我が国からの供与済み機材の現状	17
(2) アフターケアによる供与予定機材	18
(3) 専門家派遣、研修員受入れ	18
(4) 機材のコンサイニー	18
2-4 今後のスケジュール	18
3. 調査団としての提言（感想）	19
4. ミニッツ	21

# 1. 調査団の派遣

## 1-1 調査団派遣の経緯と目的

### (1) 経緯

かねてよりインドネシアは、地域及び貧富の所得格差の増大及び人口の都市流入を改善するため、地域住民の雇用機会の創出、工業の地方への分散化を図ってきており、そのためには教育、職業訓練の実施が不可欠との判断から、各地に職業訓練センターを設置してきた。

しかしながら、今後、地域開発の重点地域となるであろうスラウェシ島及びカリマンタン等の東インドネシアには訓練センターは無く、このためインドネシア国政府は、1972年8月、我が国に対し、ウジュンパンダンにおける職業訓練センター設置に係る協力を要請してきた。

これに対し我が国は、1974年2月から79年2月まで5か年間のプロジェクト方式技術協力を実施、また、引き続き80年2月までの1年間のフォローアップ協力により、これに応えた。79年2月に現地で挙行された、協力の終了式典において、インドネシア側労働・移住大臣及び南スラウェシ州知事から、本センターはインドネシアにおける職業訓練センターの最良のものとなった、との謝辞が述べられる等、本プロジェクトは成功裡に終了した。

この6年間における我が国からの投入実績は、専門家派遣13名、研修員受入れ26名、機材供与3億6千万円余に上った。

その後、82年6月に第一次アフターケア調査団を派遣し、協力終了後のセンターの状況につき調査した。その結果、本センターは、スラウェシ地方の職業訓練の中核的センターとして機能しているとの評価がなされたが、若干の故障機材のスペアパーツの補給及びセンターの更なる充実のための追加機材を供与することが必要との判断が下され、2千万円相当の機材スペアパーツとその機材に関連する短期専門家3名（機械、電気、視聴覚）が派遣された。

そして、今般、技協終了10年後のセンターの状況を把握するため、第二次アフターケア調査団が派遣された。

### (2) 目的

通常、アフターケアは、プロジェクト終了後2～3年後に行われ、プロジェクトの部分的な弱点を補強するために実施される。よって今回のように、通常のアフターケアを実施した後、更にもう一度、しかも10年後にアフターケアを実施するケースは稀であり、その意味では、プロジェクトの10年後が如何なる姿になっているのか、極めて興味深い調査であると

同時に、アフターケアを行うとしたら、ほとんど全てにわたりリノベーションが必要になることは目に見えており、アフターケアの内容を如何なるものにするかという難しさを含んでいた。

よって本調査団は、予め、第二次アフターケアの目的及び、その対処方針を次のとおりとした。

- ① プロジェクトの10年後の状況が如何なるものとなっているのか、一つの事例として現状を把握し、今後のJICAプロジェクトのより有効な実施のために供することを第一の目的とする。
- ② 大規模なリノベーションが、現段階では全く予定されていない状況下において(約3千万円の予算という与件がある)、いずれにしても十分なアフターケアは行うべくもなく、また全てが老朽化してしまっているプロジェクトに対する10年後のアフターケアは、ごく限られたものにならざるを得ない。

以上の観点から、今次アフターケアの内容を次のとおりとする方針を立てた。

イ. アフターケアの主な内容は、機材供与(約3千万円CIF)とする。その際の機材選定の優先順位を、次のとおりとする。

- (イ) 我が国が技協を展開したコースの機材を対象とし、その後増設されたコースである「経営管理」「籐工芸・洋裁」コース等は対象としない。また視聴覚機材、事務機器及びLL機材等のコースに直接関係しないものも対象としない。
- (ロ) 我が国からの供与機材のスペアパーツで、仕様の明確なもの、かつ、それらパーツがインドネシア側のみで交換可能なものとする。
- (ハ) 我が国からの供与機材の更新分。
- (ニ) 新規導入機材は極力避ける。
- (ホ) 上記を原則として、インドネシア側の優先順位と日本側が考える優先順位を加味して決定する。

ロ. 専門家派遣及び研修員受入れは、原則として行わない。

ハ. 調査団長とインドネシア側との間で取り交すミニッツにおいて、イ及びロの内容を確定し、機材の内容については、帰国後の国内作業により確定する。

ニ. 実施は平成3年度(3年度予算)とする。

## 1-2 調査団の構成

- |                 |      |                        |
|-----------------|------|------------------------|
| (1) 団長(総括兼訓練機材) | 尾藤俊知 | 雇用促進事業団国際協力課長          |
| (2) 団員(訓練機材)    | 椎根光彦 | 労働省職業能力開発局技能振興課技能検定官   |
| (3) 団員(協力計画)    | 斉藤直樹 | 国際協力事業団社会開発協力部社会開発協力二課 |



1-3 調査日程

1	12月 3日(月)	成田 - ジャカルタ (GA873)
2	4 (火)	JICA事務所、労働省訪問(総局長表敬、職訓事情聴取、ミニッツ案協議)
3	5 (水)	ジャカルタ - ウジュンパンダン (GA730) (労働省より1人同行) 労働省地域事務所、職訓センター訪問・協議
4	6 (木)	職訓センターにて協議
5	7 (金)	同上
6	8 (土)	同上
7	9 (日)	休日
8	10 (月)	職訓センター訪問、機材リスト作成 ウジュンパンダン - ジャカルタ (GA733)
9	11 (火)	労働省訪問、報告及びミニッツ作成 ミニッツ署名
10	12 (水)	JICA事務所、大使館訪問 ジャカルタ発 (GA872)
11	13 (木)	成田着

1-4 主要面談者

〈インドネシア側〉

・ ISMAIL SUMARYO	DIRECTOR GENERAL OF MANPOWER DEVELOPMENT AND PLACEMENT
SUSANTO ISMADI.SH	HEAD OF BUREAU OF LEGAL & FOREIGN AFFAIRS
SANGAJI RACHMAN	HEAD OF CENTRAL OFFICE OF V.T.
DRS. A RACHIM	DIRECTOR OF SELF-EMPLOYMENT & GENERATING JOB OPPORTUNITY
DRS. I NYOMAN TJENIK S.	DIRECTOR OF INFORMATION & PLANN- ING
R. E. SOEPONO	DIRECTOR OF EMPLOYMENT OF PLACEMENT
IR. BESAR SETYOKO	CENTRAL OFFICE OF V.T.
DRS. SOEMARTONO	DIRECTOR OF TRAINING DEVELOPMENT
DRS. HADI SUMARNO	"

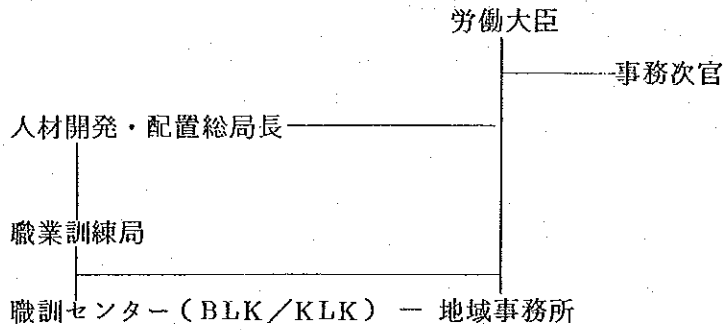
• ANWARI	CENTRAL OFFICE OF V.T.
TAUFIK	SECTION FOR LEGAL & FOREIGN AFFAIRS
• RASID PAWELERI	DIRECTOR OF REGIONAL OFFICE OF MINISTRY OF MANPOWER
• SOETRISNO	PRINCIPAL OF UJUNGPANDANG VOCATIONAL TRAINING CENTER
• MARTUANI S.	SENIOR INSTRUCTOR, WELDING & SHEET METAL SECTION
• YUNAN D.	"
JUSEF SAMBERI	SENIOR INSTRUCTOR, CONSTRUCTION & WOOD WORKING SECTION
MATHIUS R.	SENIOR INSTRUCTOR, MACHINE SHOP SECTION
MANSJUR BANDU	SENIOR INSTRUCTOR, ELECTRONICS SECTION
WAHADI SUGIJONO	SENIOR INSTRUCTOR, ELECTRIC SECTION
GODFRIED R.	SENIOR INSTRUCTOR, AUTOMOTIVE SECTION
• H.M. SIMATUPANG	STAFF
• ZAINAL	SECTION HEAD OF PLANNING & EXECUTING & REPORT

< 日本側 >

• 笠井 孝司	日本大使館 二等書記官
• 北野 康夫	JICA インドネシア 事務所長
• 山田 保	" 次長
• 稲葉 誠	" 所員



(2) 実施形態及び組織

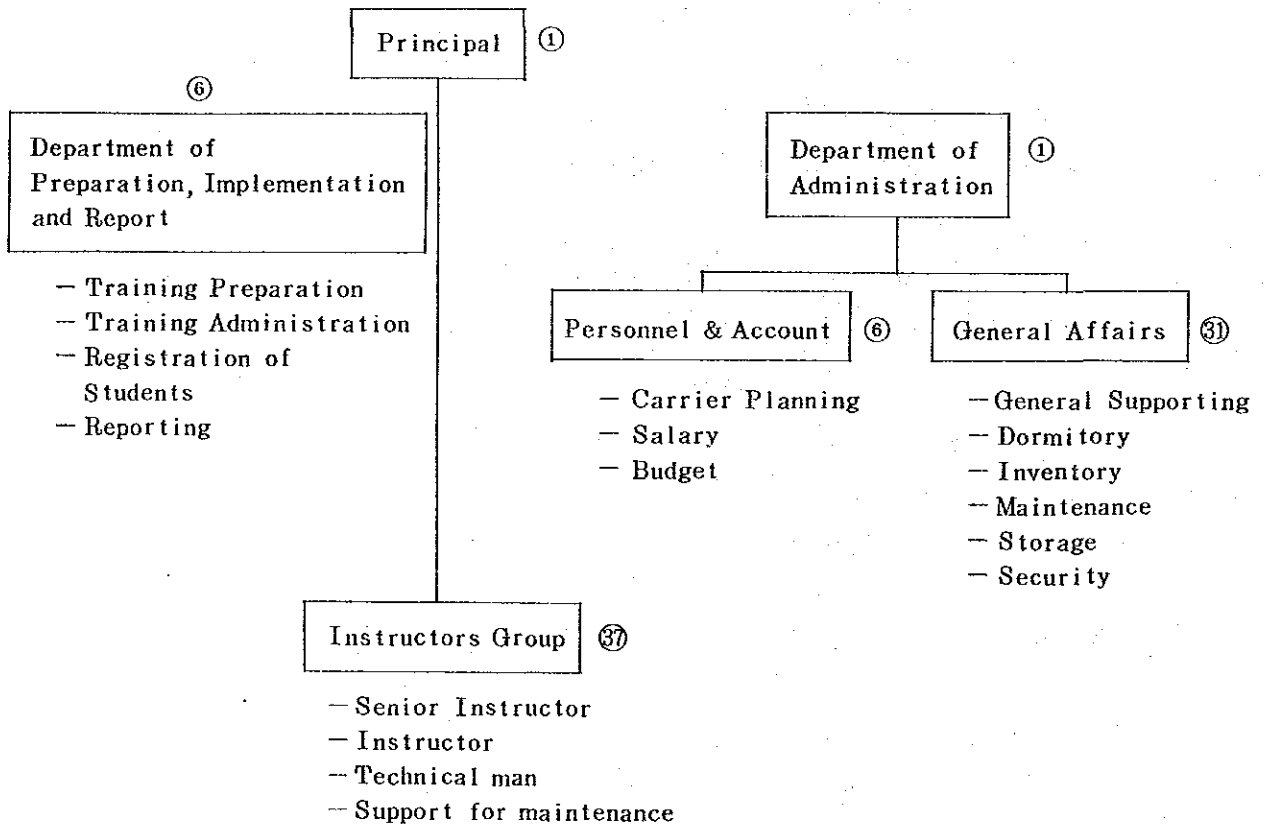


(3) 実績

労働省による今までの総訓練生数は今回つかめず。

2-2 スラウェシ職業訓練センターの現状

(1) 組織 職員数 計 82 名



① 職員数の変化

R/D(1974)	1979	1982	1990
54人	58人	79人	82人

(82年に第一次アフターケア調査を行った時点での人数に、今回調べた90年度の人数を追加表記したもの)

② 総職員数の変遷(今回入手した資料による)

年 度	スタッフ数	インストラクター数	合 計
1975/76	1	16	17
76/77	1	24	25
77/78	1	25	26
78/79	3	25	28
79/80	8	26	34
80/81	8	26	34
81/82	17	25	42
82/83	24	20	44
83/84	24	17	41
84/85	24	14	38
85/86	33	17	50
86/87	56	22	78
87/88	54	25	79
88/89	54	28	82
89/90	?	?	?
90/91	45	37	82

③ インストラクターのコース毎の内訳数

No	コース名	1975	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
1	AUTOMOTIVE	4	5	5	5	5	5	5	3	3	2	2	3	3	4		7
2	MACHINE	3	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	5	5		4
3	WELDING	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	3	3		4
4	ELECTRIC	2	2	2	2	3	3	2	2	2	2	4	3	3	4		5
5	ELECTRONICS	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	2	2	2	2		3
6	CONSTRUCTION	2	5	6	6	6	6	6	5	5	5	4	4	4	4		5
7	MANAGEMENT	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	2		2
8	MISCELLANEOUS	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3		3
9	AGRICULTURE	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1		1
10	ENGLISH LANGUAGE	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		3
	合計	16	24	25	25	26	26	25	21	20	19	20	23	25	28		37

(②の表の数字と異なるが、入手した資料のまま掲載)

(2) 訓練実績の推移

<実績数>

- ① 1975年～84年までは、極めて良好に訓練生数は増加した。(49人→4,460人)その後85年～現在に至るまで下降状況にある(1,405人→721人)。また、今年度は446人の訓練計画で実施されている。

これは一重に政府からの予算に左右されているわけであり、85年以降は経済の停滞による予算減との由である。

<コースの変遷>

- ② 訓練科目については、我が国技協終了時の79年度における、「機械」、「自動車」、「電気」、「建築」の4科であったのが、80年度に「農業」、81年度には「経営管理科(秘書、タイプ、簿記)」及び衣服、籐工芸のコースを新設、その後も「ホテル業務」、「英語」等の科を増設する等に至っている。

これは、本センターが変化する地場産業のニーズに対応した形で、コースの選定を行ってきた結果である。

<新しい訓練形態の開始>

- ③ 十分な予算が得られないことがセンターの大きな悩みである。予算が充分確保できた82年度から85年度は、年間3,000～4,000人規模の訓練を実施していたが、予算のつかない

い近年は、年間600～700人程度となっている。

校長によれば、当センターの理想的な訓練規模は最大2,000人/年との由であるが、年数回実施すべきコースも予算不足のため1回のみの実施が多く、年間600人程度の規模に縮小されているとのことである。今年度の446人は、施設利用率からみると22%に過ぎない。

そこでセンターでは、国からの予算がつかない以上、何とか自分達で予算を確保する手だてを検討し、民間企業との「COOPERATE PROGRAM」を策定し、88年度から実施を開始した。

これは、企業が如何なる職種(技能)の労働力を欲しているかを、いわば“御用聞き”し、そのニーズに応じた訓練を、企業から訓練費用を出してもらい実施し、その生徒を注文主である企業に送り込むというシステムである。これによる実績は次のとおりである。(なお、人数はセンター訓練生数の内数となる)

	コース名	1988/89	89/90	90/91
1	MECHANIC	40人	—	2
2	AUTOMOTIVE	20	60	—
3	ELECTRIC	1	22	—
4	ELECTRONICS	—	12	20
5	CONSTRUCTION	—	40	—
6	MANAGEMENT	—	30	—
7	MISCELLANEOUS	20	365	—
8	AGRICULTURE	—	—	—
9	HOSPITALITY	—	—	—
10	ENGLISH	—	—	136
合計		80人	537人	158人

(センターの訓練総数) (615人) (1,144) (721)

企業が拠出する資金の額は1例をとると、次のとおり。

89年度に実施された「木工機械操作」コース

訓練生数 16人  
 期間 2週間  
 企業からの資金 150万ルピア(15万円)

なお、88年から90年までに、本システムにより企業から得た資金は3千万ルピア(300万円)。

DEPARTEMEN TENAGA KERJA  
 PROF. SULAWESI SELATAN  
 BALI - UJUNG PANDANG  
 DATA LATIHAN DI BALI UJUNG PANDANG (TRAINING DATA)  
 PADA PELAJIA II ( 1974 S/D 1978 )

NO	KEJURUAN ( COURSES )	1974/1975		1975/1976		1976/1977		1977/1978		1978/1979		JUMLAH	
		LK	JUML	LK	JUML	LK	JUML	LK	JUML	LK	JUML	LK	JUML
I	TEK. MEKANIKA (MECHANIC)	0	0	19	147	0	147	97	0	80	0	343	0
II	AUTOMOBIL (AUTOMOTIVE)	0	0	30	96	0	96	58	0	108	0	293	0
III	LISTRIK (ELECTRIC)	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	60	0
IV	ELEKTRONIKA (ELECTRONICS)	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	10	0
V	BANGUNAN (CONSTRUCTION)	0	0	0	0	0	0	37	0	49	0	86	0
VI	TATA NIAGA (MANAGEMENT)												
VII	ANAKA KEJURUAN (MISCELLANEOUS)												
VIII	PERTANIAN (AGRICULTURE)												
IX	PETIKERJAAN (HOSPITALITY)												
X	BHS. INGGRIS (ENGLISH)												
JUMLAH (TOTAL)		49	0	49	243	0	243	193	0	307	0	792	0

Ujung Pandang, 07 Desember 1980

KEPALA BALAI LATIHAN KERJA  
 UJUNG PANDANG



SOEKRISNO  
 KEP: 2811/P.

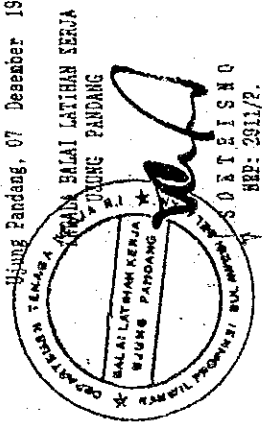


DEPARTEMEN TERAKA KERJA  
PROP. SULAWESI SELATAN  
BLK- UJUNG PANDANG

DATA LATIHAN DI BLK UJUNG PANDANG (TRAINING & DATA)  
PADA PELITA III ( 1979 S/D 1983 )

NO	KEJURUAN (COURSE)	1979/1980		1980/1981		1981/1982		1982/1983		1983/1984		JUMLAH							
		LK	POP	JUML	LA	PRP	JUML	LA	PRP	JUML	LA		PRP	JUML					
I	TEK. MEKANIKA (MECHANIC)	76	0	76	234	0	258	0	455	490	0	490	1553	0	1553				
II	AUTOMOTIF (AUTOMOTIVE)	71	0	71	119	0	138	0	645	440	0	440	1413	0	1413				
III	LISTRIK (ELECTRIC)	165	0	165	124	0	220	0	440	220	0	220	1169	0	1169				
IV	ELEKTRONIKA (ELECTRONICS)	0	0	0	0	0	0	0	0	240	0	240	240	0	240				
V	BANGUNAN (CONSTRUCTION)	71	0	71	200	0	380	0	540	560	0	560	1751	0	1751				
VI	TATA NIAGA (MANAGEMENT)	0	0	0	0	0	38	0	320	320	0	380	0	738	738				
VII	ANALIS KEJURUAN (MISCELLANEOUS)	0	0	0	0	0	186	0	600	180	520	700	180	1306	1486				
VIII	PERTANIAN (AGRICULTURE)	0	0	0	240	0	440	0	640	700	0	700	2020	0	2020				
IX	PERHOTELAN (HOSPITALITY)										0								
X	BHS. INGGRIS (ENGLISH)																		
JUMLAH (TOTAL)		363	0	363	917	0	917	1456	234	1560	2760	920	3580	2830	900	3730	8326	2044	10370

Ujung Pandang, 07 Desember 1990



DEPARTEMEN TENAGA KERJA  
PROP. SULAWESI SELATAN  
BLK - UJUNG PANDANG

DATA LATIHAN DI BLK UJUNG PANDANG (TRAINING DATA)  
PADA PELITA IV ( 1984 S/D 1988 )

NO	KELOMPOK	1984/1985		1985/1986		1986/1987		1987/1988		1988/1989		JUMLAH						
		LK	PEP	LK	PEP	LK	PEP	LK	PEP	LK	PEP	LK	PEP	JUML				
I	TEK. MEKANIKA (MECHANIC)	620	0	280	0	171	0	53	0	96	0	96	1220	0	1220			
II	AUTOMOBILIA (AUTOMOTIVE)	724	0	240	0	112	0	30	0	118	0	118	1224	0	1224			
III	LISTRIK (ELECTRIC)	323	0	40	0	70	0	59	0	28	0	28	520	0	520			
IV	ELEKTRONIKA (ELECTRONIC)	363	0	60	0	40	4	43	2	54	0	54	554	6	560			
V	BANGUNAN (CONSTRUCTION)	790	0	160	0	104	0	171	3	100	1	101	1322	4	1326			
VI	TATA NIAGA (MANAGEMENT)	0	340	0	205	16	57	73	19	34	53	20	48	68	554			
VII	ANALISA KEUANGAN (MISCELLANEOUS)	100	760	80	260	340	25	57	82	20	20	40	31	78	1175			
VIII	PERTANIAN (AGRICULTURE)	440	0	59	21	80	93	22	115	48	0	48	41	0	41			
IX	PERHOTELAN (HOSPITALITY)																	
X	BHS. INGGRIS (ENGLISH)																	
JUMLAH (TOTAL)		3360	1100	1460	486	1405	627	140	767	438	59	497	488	127	615	5832	1912	7744

Ujung Pandang, 07 Desember 1990

KAPALA BALAI LATIHAN KERJA  
UJUNG PANDANG

S O P T I R I S H O  
NRP: 2911/P.

DEPARTEMEN TENAGA KERJA  
PROP. SULAWESI SELATAN  
BLK - UJUNG PANDANG

DATA LATIHAN DI BLK UJUNG PANDANG (TRAINING DATA)  
PADA PELITA V ( 1989 S/D 1990 )

4

NO	KEJURUAN (COURSES)	1989/1990		1990/1991		1991/1992		1992/1993		JUMLAH		統計				
		LK	PRP	JUML	LK	PRP	JUML	LK	PRP	JUML	LK	PRP	JUML	男	女	
I	TEK. MEKANIK (MECHANIC)	75	0	75	53	0	53				128	0	128	3244	0	3244
II	AUTOMEKANIK (AUTOMOTIVE)	100	0	100	30	0	30				130	0	130	3460	0	3460
III	LISTRIK (ELECTRIC)	72	0	72	26	0	26				98	0	98	1847	0	1847
IV	ELEKTRONIKA (ELECTRONICS)	39	0	39	46	0	46				85	0	85	881	6	885
V	BANGUNAN (CONSTRUCTION)	169	0	169	80	0	80				249	0	249	3458	4	3442
VI	TATA NIAGA (MANAGEMENT)	3	116	119	14	123	137				17	239	256	72	166	1733
VII	ANAKA KAJURUAN (MISCELLANEOUS)	367	148	515	13	75	88				380	223	603	816	2704	3530
VIII	PERTANIAN (AGRICULTURE)	0	0	0	64	9	73				64	9	73	4765	52	2817
IX	PARHOTELAN (HOSPITALITY)	22	33	55	25	27	52				47	60	107	47	60	107
X	BHS. INGGRIS (ENGLISH)	0	0	0	54	82	136				54	82	136	54	82	136
JUMLAH : (TOTAL)		847	297	1144	405	316	721				1252	613	1865	16202	4567	20771

Ujung Pandang, 07 Desember 1990

KEPALA BALAI LATIHAN KERJA  
UJUNG PANDANG



SOETRISNO  
NRP: 2911/P.

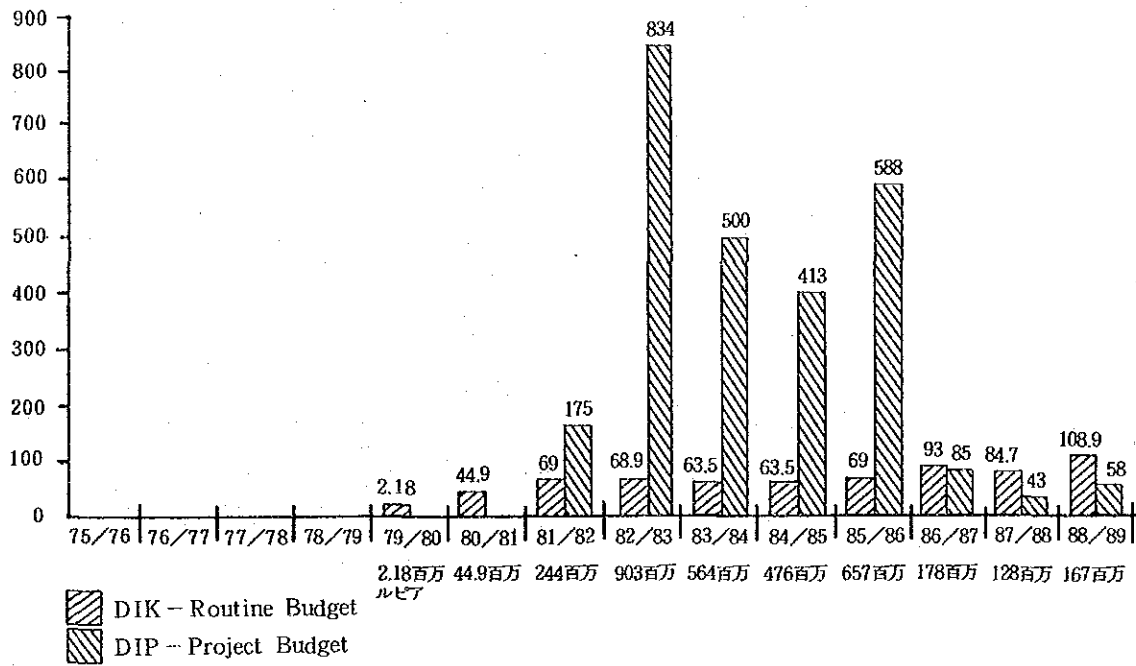
< 90 年度 (最新) の訓練コース >

1.	MECHANIC	— MACHINE SHOP	4 MONTHS	1 CLASS
		ARC WELDING	4	1
2.	AUTOMOTIVE	— GASOLINE ENGINE	4	1
3.	ELECTRIC	— COOLING SYSTEM	4	1
4.	ELECTRONICS	— ELECTRONICS	4	1
5.	CONSTRUCTION	— MASONRY	1	2
		ROAD MAN	1	1
		SURVEYOR	1	1
6.	MANAGEMENT	— TYPING	2	1
		SECRETARY	2	2
		SALES INFORMATION	2	1
		OFFICE ADMINISTRATION	2	1
7.	MISCELLANEOUS	— SEWING	2	2
		RATTAN HANDY CRAFT	2	1
8.	AGRICULTURE	— FISHERY	3	1
		HORTICULTURE	2	1
		HAND TRACTORS TECHNICIAN	2	1
9.	HOSPITALITY	— HOSPITALITY	2	4
10.	ENGLISH	— ENGLISH	②	②

計 446 人

(3) 予算の推移

GRAFIK ANGGARAN RUTIN & PROYEK  
BLK UJUNG PANDANG  
( × 1,000,000.)



(4) 訓練生の就職率

(目標) - 就職	75 %	) 90 %	(実際) - 就職	50 %	) 75 %
- 自営	15 %		- 自営	25 %	
- 無 (Waiting Job)			- 無	25 %	

## (5) 協力期間中のカウンターパートの現在の動向

科 名	(80年)カウンターパート氏名	(82年)	(90年)
Machine Work (機械仕上科)	Arifin Jusuf	Chief of machine (主任)	他センターへ異動
	Sabaruddin Hassan	Instructor	○
	Tarumaji	Instructor	他センターへ異動
	Joddi Herumawan	労働移住省労働力開発研究所	—
	Matus Rogan Sunbia	Instructor	○
Sheet Metal Work (板金・溶接科)	Auza Zain K	Chief of sheet metal work shop (主任)	他センターへ異動
	Andi Baso	Instructor	○
	Martuani Siregar	Instructor	○
	Zainal Abidin	Chief of maintenance and Dormitory	○センター部長
	Yunan Daulay	Instructor	○
Electric (電気科)	A·Sakka Makkulau	Moved to Public work (Ujung Pandang)	—
	Hasan Muchlys	労働移住省労働力開発研究所	—
	Max Latuwael	Chief of electric work shop	—CEVEST
Electronics (電子科)	Mansjur Bandu	Instructor	○
	Wahadi Sugiyono	Instructor	○
Woodworking (木工科)	Machlis A·Lamato	Instructor	他センターへ異動
	Jusuf Samberi	Chief of Woodworking	○インストラクター
	Margono	Instructor	○
Building (建築科)	Jus Gantohe	Moved to Private Company (Ujung Pandang)	—
	Supriyono	Chief of Building	○インストラクター
	Merpun Sinaga	Instructor	○
Auto Mechanic (自動車整備科)	Pakki A·P	Training Coordinator for institution and MTU	—
	Burhanuddin P	Moved to Private Company (Tonasa Cement)	—
	Piter Pardede	労働移住省労働力開発研究所	—
	Daniel Toding	Chief of Auto mechanic	他センターへ異動
	Godfried R	Instructor	○

26名

19名

13名

### 2-3 第二次アフターケアの内容

#### (1) 我が国からの供与済み機材の現状

① センターの機材のうちJICAからの機材の占める割合=約8割強

	JICA		インドネシア		合計	
	Item数	%	Item数	%	Item数	%
1. AUTOMOTIVE (機械)	42	97.67	1	2.33	43	100
	288	58.18	171	41.82	495	100
2. MECHANIC ( "	55	83.33	11	16.67	66	100
	2,363	94.59	135	5.41	2,498	100
3. WELDING ( "	37	77.08	10	22.92	48	100
	584	52.99	518	47.01	1,102	100
4. ELECTRIC ( "	24	36.92	41	63.08	65	100
	4,206	90.99	416	9.01	4,622	100
5. ELECTRONICS ( "	55	100	-	-	55	100
	579	79.42	150	20.58	729	100
6. CONSTRUCTION ( "	39	82.97	8	17.03	47	100
	3,971	89.82	450	10.18	4,421	100
7. MANAGEMENT ( "	-	-	232	100	232	100
	-	-	-	-	-	-
8. MISCELLANEOUS ( "	-	-	157	100	157	100
	-	-	-	-	-	-
9. OFFICE EQUIPMENT ( "	40	93.02	3	6.98	43	100
	-	-	-	-	-	-
10. TOTAL ( "	292	79.56	75	20.44	367	100
	11,991	83.38	2,390	16.62	14,381	100

② 我が国からの供与機材の現状

極めて良く整備され、解説及びパーツカタログ等も揃っている。しかしながら10～15年前の機材であり、老朽化は激しく、故障しているもの、スペアパーツ不足のため稼働していない機材も、ある程度ある。

(2) アフターケアによる供与予定機材

冒頭の我がほう方針に基づき、供与予定機材のロングリストを作成（別添ミニッツ参照）。既に製造中止となっているものも、かなりあると予想されることから、今後、国内作業を行い、対象機材（パーツ）を確定する。

(3) 専門家派遣、研修員受入れ

実施しない。

(4) 機材のコンサイニー

送付先はセンター、コンサイニーは労働省イスマイル総局長とする。

2-4 今後のスケジュール

(1) 団員による供与機材リストの詰め（1月末）

(2) リストの完成（3月末）

(3) 要請書の取り付け（A4フォームのヒナ形は先方に提示済み）（3月末）

(4) 機材購送完了（10月末）



### 3. 調査団としての提言（感想）

- (1) インドネシア労働省の工業職業訓練に対する熱意は強く、また、我が国に対する期待も極めて大きいものがある。

経済の停滞により予算不足が最大の問題となっているが、全国にある職訓センターを如何にうまく機能させていこうかという工夫は常に続けており、本調査団がスラウェシセンターを訪れた際も、同地において、おりしも、スラウェシ、マルク、イリアンジャヤ等の東インドネシアの31の職訓センターの代表者を集めたセミナー（コンサルテーションミーティング）が開かれており、予算が無い中で、企業とタイアップした訓練の方途を中心に検討がなされた由である。

また、91年1月には、やはり33のBLK代表者がジャカルタに集い、National Meetingが開催される由であり、中央と各センターを結ぶ行政機能は良好に働いていると思料される。

本省の総局長表敬の際も、同局長からイリアンジャヤにおける職訓センターの開設に対する我が国からの協力を強い期待が寄せられた。また、他のスタッフからもイリアンジャヤが難しければ、スラウェシのセンターを発展させ、東インドネシアをカバーする職訓の拠点にしたい、との強い希望も表明された（本2件は本年度年次協議の席上、日本側に表明済みとの由）。

本調査団としては、これらに関しコメントする立場になく、一切の言及は行わなかったが、スラウェシセンターが協力終了後10年の後においても極めて良好に発展してきている事実を考え合せると、今後も何らかの形で同国の職訓改善に一助の手を差し延べたい、との感想を持った。

- (2) スラウェシ職訓センターに限ってみても、予算不足のため訓練生の数こそ充分ではないものの、地場産業のニーズを的確にとらえたうえでのコース設定や企業とのタイアップによる資金獲得といった努力を続けつつ、古い機材を極めて良好に整備・使用しており、それは真に称賛に値するものであった。

当初の対処方針では、将来の後押しを想定していない10年後のアフターケアはその位置付けも難しく、アフターケアの内容も限定されたものにならざるを得ないと位置付け、3千万円の機材供与という枠内に収めるべく調査に向かったところである。その基本的考え方は、調査を終えた今でも変わらないが、でき得れば、機材の8割以上が今でもJICAからの供与機材が使用され、いま更、他の諸国に援助を求める選択の余地のない当センターに対し、若干の機材供与費の増額が図れないものか、というのが正直な感想である。



#### 4. ミニッツ

THE MINUTES OF A MEETING  
BETWEEN  
THE JAPANESE AFTERCARE SURVEY TEAM  
AND  
THE MINISTRY OF MANPOWER OF  
THE REPUBLIC OF INDONESIA  
ON  
THE SULAWESI VOCATIONAL TRAINING CENTER PROJECT

The Japanese Second Aftercare Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Toshikazu Bito (Director, International Cooperation Division, Employment Promotion Corporation) visited the Republic of Indonesia from December 3 to December 12, 1990.

During its stay in the Republic of Indonesia, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Indonesian authorities concerned for the implementation of the Second Aftercare Technical Cooperation Program for the Sulawesi Vocational Training Center project (hereinafter referred to as "the Project").

As a result of the discussions, both parties have agreed to recommend their respective governments the matters referred in the document attached hereto.

Jakarta, December 11, 1990

尾藤 俊和

-----  
Toshikazu Bito  
Leader,  
Japanese Aftercare Survey Team  
Japan International Cooperation  
Agency (JICA)  
JAPAN.



-----  
Ismail Sumaryo  
Director General  
Manpower Development and  
Placement,  
Ministry of Manpower  
THE REPUBLIC OF INDONESIA

ATTACHED DOCUMENT  
-----

1. PROGRESS OF THE PROJECT

The Team recognized that the Project has been developing and contributing to the development of industry and to the escalation of the labor productivity in the Republic of Indonesia.

2. NEED FOR AFTERCARE TECHNICAL COOPERATION

Both parties reached the same conclusion that :

- (1) The equipment donated by JICA is fully utilized and well maintained.
- (2) However, some spare parts and new equipment for replacement are quite necessary, due to limited service life of equipment, for further development of the Project.

3. IMPLEMENTATION OF THE AFTERCARE PROGRAM

Based on the recognition mentioned in 2. above, both parties agreed that :

- (1) Spare parts and equipment listed in the ANNEX will be provided for the Project by JICA within the budget for this program in accordance with the priority on equipment.
- (2) This program will be conducted in Japanese fiscal year 1991.

4. MEASURES TAKEN BY THE INDONESIAN SIDE IN CONNECTION WITH THE PROGRAM.

- (1) To submit the formal Application form (A4) for donation of the equipment to the Government of Japan by the end of March 1991.
- (2) To bear the necessary expenses for customs duties, internal taxes, transportation and any other charges imposed on the equipment within the Republic of Indonesia.

5. OTHER MATTERS.

- (1) Indonesian side strongly requested that based on the manpower problems and availability of natural resources to improve VTC in other areas.
- (2) Japanese side will submit above request to Government of Japan.

*[Handwritten signature]*  
11/12/91

## LIST OF SPARE PARTS &amp; EQUIPMENT WITH PRIORITY

ANNEX 1

NO	NAME OF EQUIPMENT	SPECIFICATION	NAME OF MAKER	QUANTITY
BUILDING SECTION (WOOD WORKI)				
1	PARTS FOR ROUTER MACHINE RM - 2	CARBIDE COVE BOX BITS, CARBIDE SLOT CUTTERS ETC (18- TYPE)		450 eac h25
2	PARTS FOR UNIVERSAL GRINDING MACHINE HG - 2	CARBIDE OF GRINDER 1. SDC400R 75RC2-1.5 2. SDC400N 5033-1.5		50 eac h25
3	PARTS FOR KNIFE GRINDING MACHINE JH-60	OIL STONE 1. 300 $\phi$ x25x25 $\phi$ 2. 100 $\phi$ x50x16 $\phi$		100 eac h50
4	PARTS FOR HOLLOW CHISEL MARTISER H - 71	CHISEL BIT 1. 6mm-12mm...70 2. 13mm-30mm...30		100
5	PARTS FOR UNIVERSAL CIRCULARSAW BS-16	CARBIDE TYPED CICULARSAW		50
6	PARTS FOR CROSS CUT SAW CS - 3	CARBIDE TYPED CROSS CUT SAW ( $\phi$ 355, $\phi$ 25.4, 3600 RPM)		10
7	PARTS FOR HAND PLANER AND JOINTER HE - 1	CUTTER (400mm)		10
8	PARTS FOR HAND PLANER AND JOINTER HD - 1	CUTTER (300mm)		10
9	PARTS FOR HAND PLANER AND JOINTER HP - 133	CUTTER (330mm)		10
10	FART FOR AUTO SINGLE SURFACE PLANER SP-123	CUTTER		10
11	PARTS FOR AUTO SINGLE SURFACE PLANER AP-600	COUPLING	HEIAN	3
12	DRAWING MACHINE	TRUCK TYPE (AO SIZE)	MUTOH	10
13	PARTS FOR MOULDING MACHINE ONE SPINDLE	BELT T-3-2P 20 x 1300 WING CUTTER $\phi$ HOLD 1/2"	SHODA	5
MASONRY				
1.	CONCRETE VIBRATOR	TYPE JFE	HAYASHI VIBRATOR CO LTD	2
2	BAR CUTTING MACHINE	TYPE DC-25	ISHIHARA MACHINE CO LTD	2
3	BAR BENDING MACHINE	TYPE DBC - 19	ISHIHARA MACHINE CO LTD	2
4	BLOCK CUTTING (BIT SAW)	L 500 mm		40
5	ROUND TYPE TWO-WHEEL TRUCK	TYPE 102 A-BR 110 OR 102 B BR 160	KAMBE HAND TRUCK FNG CO LTD	3
6	STEEL MASTER CLAW	ST 1, 2002, 6(5200)	STANLEY	50
7	TORPEDO LEVELS (3 VIALS)	43-230, 254mm, 6(B70)		50
8	PLOUGH PLANE	TYPE 13-052 10 BLADE	STANLEY	20

## LIST OF SPARE PARTS &amp; EQUIPMENT WITH PRIORITY

ANNEX 2

NO	NAME OF EQUIPMENT	SPECIFICATION	NAME OF MAKER	QUANTITY
ELECTRIC SECTION				
1	DYNAMO MOTOR	YMG - 3	KYONAN CORP	1
2	SPARE PARTS FOR DC SWITCH BOARD	FUSE 32-868 SF 250 - 30 A.		50
3	SPARE PARTS FOR MOTOR SWITCH BOARD	FUSE		50
4	TESTER	TYPE 3201	YOKOGAWA ELECTRIC WORKS LTD	20
5	AC MAGNETIC CONTACTOR	SRC 3631 - 5 - 1	FUJI ELECTRIC CO LTD	100
6	KNIFE SWITCH	BE 63060 (60A 3P 60A 250V RC 2500A)	NATIONAL	50
AIR CONDITIONING SECTION				
1	NITROGEN HI MILLON REGULATOR	TYPE 6005 C	CHIYODA-SEIKI CORP	30
2	TUBE BENDER	(FOR 1/4", 3/8", 1/8")		5
3	GAS DETECTOR	(FOR R - 12)		5

*File*  
*12/20*  
*Y. K.*

## LIST OF SPARE PARTS &amp; EQUIPMENT WITH PRIORITY

ANNEX 3

NO	NAME OF EQUIPMENT	SPECIFICATION	NAME OF MAKER	QUANTITY
AUTOMOTIVE SECTION				
1	PARTS UNIT FOR DIESEL ENGINE	MARINE, 3 PISTON	YANMAR	1
2	PARTS UNIT FOR DIESEL ENGINE	CAR, 1600-2000 CC	TOYOTA	1
3	PARTS UNIT FOR GASOLINE ENGINE	CAR, 1600-2000 CC	TOYOTA	1
4	COMPRESSOR UNIT	2 PS	BANZAI	1
5	SPRAY GUN UNIT	NORMAL TYPE	BANZAI	5
6	PARTS FOR PISTON HEATER	BOX WITH HEATER	BANZAI	1
7	TUNE UP TESTER PARTS UNIT	RPM, CAM, VACUM	BANZAI	1
8	PARTS UNIT FOR BATTERY CHARGER	6, 12, 24 VOLT	BANZAI	1
9	PARTS FOR ENGINE	FOR MICRO BUS	NISSAN	SET
10	TOOL KITS	WRENCHES, ETC	NISSALCO	5

*A. P. P.*  
*12/20/62*



## LIST OF SPARE PARTS &amp; EQUIPMENT WITH PRIORITY

ANNEX 4

NO	NAME OF EQUIPMENT	SPECIFICATION	NAME OF MAKER	QUANTITY
WELDING & METAL WORKING				
1	AC ARC WELDING MACHINE	220 VOLT 300 A	OSAKA DENKI CO LTD	10
2A	UPPER & LOWER BLADES OF SQUARE SHEARING MACHINE	1,25 METER X 6,5 M/M KSS 4.6,5	KYOKUTO KOGYO CO LTD	1
2B	PUBBER CLAMPING OF SQUARE SHEARING MACHINE	9 PIECES/A SET	DITTO	1
2C	PLASTIC GEAR TRANSMISSION OF SQUARE SHEARING MACHINE	∅. 104 M/M	DITTO	1
3A	PUNCH & DIE OF HIDRAULIC BENDING MACHINE	2 MT X 4 M/M	TOYOKOKI CO LTD	1
3B	ADJUSTABLE PUNCH & DIE HYDRAULIC BENDING MACHINE	2 MT X 4 M/M	DITTO	1
4A	CUT REAMER OF PIPE CUTTING THREADING MACHINE	1/2 - 3/4 INCHES CT 40203 1/2 B-4B	OGURA NEW 100 F	2
4B	CUT REAMER OF PIPE CUTTING THREADING MACHINE	1 - 2 INCHES CT 40203 1/2 B-4B	OGURA NEW 100 F	2
4C	CUT REAMER OF PIPE CUTTING THREADING MACHINE	2 - 4 INCHES CT 40203 1/2 B-4B	OGURA NEW 100 F	2
5	CONDENSER OF PEDAL SPOT WELDING MACHINE	500 A 220 VOLT	ORIGINE ELECTRIC WORK	2
6	UPPER & LOWER PUNCH & DIE HAND LEVER BENDING MACHINE	1,25 MT X 4 M/M H. 800	NOGUCHI PRESS CO LTD	1
7	UPPER & LOWER BLADES OF PEDAL SQUARE CUTTING MACHINE	1,20 METER X 1 M/M FS. 102	NOGUCHI PRESS CO LTD	1
8	KINDS OF TIPS OF PORTABLE SPOT WELDING	7 - 5 VOLT : 4000 A	DADO KOGYO KAISHA	2
9	GRINDING STONE OF CUT-OFF GRINDING CUTTING MACHINE	∅. 405. 220 VOLT	KITACHI KOKI	50
10	OXY ACETYLENE & PROPANE AUTOMATIC CUTTING MACHINE	220 VOLT MOTOR KT. 5X	OSAKA ENGINEERING WORK	
11	BENCH GRINDER MACHINE	205 mm 220 VOLT	HITACHI KOKI	1
12	UNIVERSAL BEVEL PROTRACTOR	150 mm + 300 mm	MITUTOYO	5
13	VERNIER CALIPER	150 mm	MITUTOYO	5
14	VERNIER CALIPER	300 mm	MITUTOYO	5
15	TIN MAN CURVED SNIP	30 CM		10
16	TIN MAN STRAIGHT SNIP	30 CM		10
17	PORTABLE ELECTRIC DRILL	UNDER O 13,5. 220 V	HITACHI KOKI	5
18	PORTABLE ELECTRIC SHEAR	t. 2 mm 220 VOLT	HITACHI KOKI	3
19	GEAR BOX OF BENDING ROLL MACHINE	1 : 60 FORM : GD 2M-45 PRESSURE: 220 50 HZ NUMBER. NO. 401	OKUYAMA	1

*A. L. P. G.*  
12/20/20

## LIST OF SPARE PARTS &amp; EQUIPMENT WITH PRIORITY

ANNEX 5

NO	NAME OF EQUIPMENT	SPECIFICATION	NAME OF MAKER	QUANTITY
ELECTRONICS SECTION				
1	PC-27 PROBE	1:1&10:1TO 15 MHz (for cs-1560&cs1560)	TORIO-KENWOOD CORP	8
2	CA-41 CABLE	BNC (MALE)-ALLIGATOR CLIPS	TORIO-KENWOOD CORP	8
3	PC-36 CABLE	DUAL BANANA PLUS ALLIGATOR CLIPS	TORIO-KENWOOD CORP	8
4	PC-19 PROBE	1:1&10:1DC TO 15 MHz (for Cs-1557A,Cs1557) Cs-1566&Cs1554&CS1351	TORIO-KENWOOD CORP	8
5	REGULATED DC POWER SUPPLY	MODEL PAB-32-3	KIKUSUI ELECTRONICS CORP	2
6	TRANSISTOR REGULATED POWER SUPPLY	MODEL 7009	NIHON-TSUSHINKI CORP	4
7	FUNCTION GENERATOR	3311-A	HEWLET PACKARD (USA)	3
8	TOOL KIT SET	S - 22	HOZAN TOOL INDUSTRIAL CORP	10
9	TRS-80 MICRO COMPUTER TRAINER SYSTEM	TK - 85	NEC	10
10	TELEVISION KITS B/W	12 TR - 1	TOEI-MUSEN CORP	5
11	TV TRAINER B/W	TVT - 201	ELINDO	5
12	TV TRAINER COLOR	TV. CT 206	ELINDO	5

*Arch*

## LIST OF SPARE PARTS &amp; EQUIPMENT WITH PRIORITY

ANNEX 6

NO	NAME OF EQUIPMENT	SPECIFICATION	NAME OF MAKER	QUANTITY
MACHINE SHOP				
1	SPARE PARTS FOR LATHE MACHINE	WASHINO LR 55 A	WASHINO/JAPAN	30
2	SPARE PARTS FOR LATHE MACHINE	WASHINO LE 19 C	WASHINO/JAPAN	8
3	SPARE PARTS FOR SHAPER MACHINE	WAKAYAMA UM 450 N	WASHINO/JAPAN	11
4	SPARE PARTS FOR UNIVERSAL MILLING MACHINE	HITACHI SEIKI MS-U	HITACHI/SEIKI	5
5	SPARE PARTS FOR UNIVERSAL TESTING MACHINE	TOKYO TESTING MACHINE 30-P	TOKYO TESTING MACHINE	6
6	SPARE PARTS FOR VERTICAL MILLING MACHINE	HITACHI SEIKI MS-U	HITACHISEIKI	1
7	KINDS OF CHIPS CUTTERS FOR LATHE	TNMG 332 TR	NAGACHI	200
8	KINDS OF BOARDS	TNG 332	NAGACHI	100
9	KINDS OF TOOL CUTTERS FOR MILLING	TNG	NAGACHI	100
10	SPARE PARTS FOR ROCKWELL HARDNESS TESTER	TOKYO TESTING MACHINE MACHINE MF RH-3N	TOKYO	3
11	SPARE PARTS FOR LATHE MACHINE	WASINO LEO 125 A	WASINO	3
12	SPARE PARTS FOR SHAPER MACHINE	WAKAYAMA WN-45N	OKAMURA	6
13	SPARE PARTS FOR SURFACE GRINDING MACHINE	SANSEI BA 256	SANSEI	1
14	SPARE PARTS FOR DRILLING MACHINE	KIWA KUD 550 F	KIWA	8
15	KINDS OF TOOL CUTTERS FOR MILLING	SRTRAIGHT BIT 22 M/M CUTTING BIT 25 M/M FINISHING BIT 2"		20 20 20

*A/11/12/20* *P. G.*

JICA